

詩界

第266号

目次

題字 土屋竹雨
表紙絵 福沢一郎

「新しい詩の声」のベクトル

モダニズムに見る詩の創造とこれから

——春山行夫と季刊詩誌「詩と詩論」をめぐって

中原秀雪

4

新しい詩の声と問われて

塚本敏雄

13

立原道造と安西均と本歌取りと

望月苑巳

17

小さな抒情的叙事詩

——アニメな役割

金田久璋

25

私にとって新しい詩とは

浜江順子

29

方言の消滅について

小松弘愛

34

高校生の詩の行方

根本明

40

新しい詩の声

——色とりどりの世界

桑田窓

45



もつと働く者の詩を！ —— 詩を支えに私は精一杯生きてこられました 赤木比佐江 49

〈わたし〉が語りかけてくる 本間義人 51

関西大会講演

詩と現実との関わり —— 自著『投擲通信』の詩人たち』を振り返って 細見和之 54

国際交流

「研究者・翻訳家たちの万国旗」講演

リジア・シウムクレーテの詩 薬師川虹一 62

インド詩人シヨンコ・ゴーシユの「ジヨムナボテイ」 丹羽京子 63

インド―多言語国家の詩 谷口ちかえ 64

ラテンアメリカの日系詩人 ホセ・ワタナベとペドロ・シモセ 細野 豊 65

二十世紀の詩人。ハウル・ツェラン 富岡悦子 66

ボブロフスキーの詩 神品芳夫 67

金時鐘の詩の世界性 佐川亜紀 68

大邱の詩人たち —— 李 相和について —— 中原道夫 69

ボヌフォワの『入り口の罨のなかで』をめぐって 清水 茂 71

国際交流2018 「研究者・翻訳家たちの万国旗」を企画・実践して 佐相憲一 72

例会講演

十一月

賢治の詩とリズム雑俎 中村節也 73

十二月

宮沢賢治のフィロソフィー —— 詩（心象スケッチ）と宗教 栗原 敦 80

詩界フォーラム

詩の評論・研究書・評伝・詩集翻訳書・エッセイ集 86

会員刊行詩集 91

会員編集発行詩誌 94

日本詩人クラブ講演一覧 79

日本詩人クラブ三賞 85

「新しい詩の声」現代詩セミナー 90

編集後記 98